令和5年度　大玉村立玉井小学校　学校だより

～自分やふるさとに誇りをもち、夢や希望に向かう子ども～
○　自ら学ぶ子ども
○　心豊かな子ども
○　たくましい子ども

玉っ子

ＮＯ１８　Ｒ５.１１.１７
文責　校長　佐藤則之

創立150周年を祝う

～記念品授与～
実行委員長から代表児童へ

記念式典

記念式典開催

明治７年１月２３日に開設以来１５０年、玉井地区の多くの人々の学びを見守ってきた玉井小学校は、今年で創立１５０周年を迎えました。１１月１１日には大玉村長様を始め多くのご来賓の皆様方にも御臨席を賜り「創立１５０周年記念式典」を挙行しました。式典の中で、実行委員長より児童代表の６年生に記念品が贈られました。参列いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

創立１５０周年　記念餅つき

１１月１１日(土)の午後には、創立１５０周年記念餅つきが行われました。記念事業実行委員会主催で担当のＰＴＡ生活委員会、教養保健委員会が企画・運営を行い、ＰＴＡ会長ＯＢ会、地域のボランティアさんの多大なる御協力を得て、盛会に実施することができました。臼や杵を始め、餅つきに必要な物品は村内の幼稚園や地域の方々の御協力を頂き準備し、餅米まで協賛いただきました。本当にありがとうございました。

多くのボランティアの協力

各学年一つずつ臼での餅つき

千本杵で餅つき

なぜ祝い事に「餅つき」なのか

日本には古来稲作信仰というものがあり、米は人々の生命力を強める神聖な食べ物であると考えられてきました。米をついて固める餅は、とりわけその力が高いとされているため、祝い事や特別な日には、餅つきをするようになったといわれています。

また、餅つきは一人ではできないため、皆の連帯感を高め、喜びを分かち合うという社会的意義もあります。